

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	C	令和7年4月14日
横断的な課題	ポストコロナ時代に選ばれる魅力的な地域づくりの推進					
地域重点政策	ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる					長野地域振興局
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	企画振興課
事業名	地域おこし協力隊確保・活動・定着支援事業			電話	026-234-9501	
				E-mail	nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	しあわせ信州創造プラン3.0長野地域計画では、地域おこし協力隊などの地域社会の担い手の確保や育成の支援に取り組むこととしており、隊員の活動の円滑化や退任後の地域への定着・定住を目指す。				
	現状と課題	・長野地域では、令和6年4月1日時点の地域おこし協力隊員数が7市町村46名、令和5年度末任期終了者の定着率は69.2%となっている。 ・長野県総合5か年計画では、地域おこし協力隊についての達成目標が、2027年度に隊員数580人、任期終了後の定着率85%と設定されているため、更に取組を促進する必要がある。 ・令和5年度に市町村担当者及び隊員に向けアンケートを実施し、地域おこし協力隊制度や隊員の活動等を熟知した有識者への協力依頼が効果的であるというニーズを確認。 ・隊員は任期終了後の起業や就業についての関心が高いため、活動支援として行う研修会等での効果的な有識者の起用と、定着支援として起業や就労に関する企画を実施する必要がある。				
	内容 (変更後の内容)	長野地域で活動中の協力隊員同士の市町村を超えた「つながりの場」づくりとして、有識者による隊員向け研修会を開催する。 研修会の内容 ①退任後の地域への定着促進を図るための協力隊OBによる講演会 ②各市町村内で多様な活動を個別で展開している隊員同士が、活動の中で抱える課題や悩みについて話し合い、隊員同士のつながりづくりの場となる意見交換会 【概要】 日時:令和7年2月20日(木) 13:30～16:00 場所:長野合同庁舎 別館大会議室 参加者:管内市町村の地域おこし協力隊員、市町村担当職員 内容:①講演会 演題「退任後の心構え」 講師 小山友誉氏((一社)里山プロジェクト代表理事) ②意見交換会 ファシリテーター 早川航紀氏(須坂市地域おこし協力隊OB)				
	事業期間	令和6年8月 ～ 令和7年3月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	活動支援事業	講演、意見交換	81,380	①【講師】 ・謝金 55,000円×1名(報償費) ・旅費 11,780円×1名(旅費) ②【ファシリテーター】 謝金 12,400円×1名(報償費) 旅費 2,200円×1名(旅費)		
	合 計		81,380			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	研修会参加人数(管内隊員数46人の半数以上)		23人	19人	○ 達成	
	参加者アンケート満足度(満足、やや満足)		60%	88%	● 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	【実績】 ・2名の講師を招き、地域おこし協力隊員向け研修会を実施したところ19名の参加があった。 ・当初は協力隊員のみ参加を想定していたが、市町村から講演会への参加希望があり、市町村職員の参加も得られた。 ・参加者アンケートでは満足度が高く88%が満足・やや満足と回答した。 【成果】 ・参加者に対し地域とのかかわり方や卒隊後に向けた取組について学ぶ機会を提供できた。 ・複数市町村の隊員が参加することにより横のつながりを持つ機会を提供できた。					
今後の方向性	地域おこし協力隊員向け研修会を他の地局や地域振興課との合同開催等を検討し、研修会参加への負担軽減や他地域の隊員と交流する機会を設けることで参加者を増やし長野地域の地域おこし協力隊活動の推進に取り組む。					